

2010年度理学部地球惑星環境学科特別研究発表会

<日時・場所>

2011年2月5日（土） 9:50-16:40

理学部1号館 小柴ホール

<発表者（指導教員）・時間・発表タイトル>

1. 堀本健太（砂村） 10:00-10:20

オマーンオフィオライトアルカリ泉に棲息する微生物の解析

2. 遠藤 謙（須貝） 10:20-10:40

韭崎岩屑流堆積物とその地形について

3. 荻野 啓（小澤） 10:40-11:00

幌満かんらん岩体から探るマントル深部の情報

4. 加藤太一（棚部） 11:00-11:20

Three-dimensional morphological analysis of a new skull specimen, *Manemergus anguirostris* (a polycotyloid plesiosaur) from the early Turonian of Morocco

5. 門屋辰太郎（田近） 11:20-11:40

Effects of Orbital Eccentricity on Habitability of Earth-like Extrasolar Planets with Carbonate-Silicate Geochemical Cycle

6. 齋藤京太（多田） 11:40-12:00

沖縄本島西方海洋表層堆積物のXRDによる鉱物組成分析に基づく粒度別供給源推定とコア堆積物への応用

(昼休み)

7. 柴崎智佳（茅根） 13:00-13:20

石垣島轟川湿地コアの窒素・炭素同位体比分析による過去30年間の人為負荷と堆積環境変化

8. 関 有沙 (横山) 13:20-13:40

14C年代測定を用いた、 沖縄県久米島下地原鍾乳洞 石筍の年代モデル構築

9. 戸上亜美 (川幡) 13:40-14:00

広島湾における過去四千年のアルケノン古水温計を使った気候変動復元

10. 濱橋真理 (木村) 14:00-14:20

延岡衝上断層の巨視的・微視的構造解析

11. 前田謙介 (浦辺) 14:20-14:40

御坂層の宝鉾床本州弧に衝突付加された化石海底熱水鉍床

12. 松尾侑磨 (佐々木) 14:40-15:00

軟体動物カサガイ類の貝殻微細構造 *Eoacmaea chamorrorum* に着目して

(休憩)

13. 眞中卓也 (川幡) 15:20-15:40

湖沼におけるpH と栄養塩の関係性の考察~世界の大河の物質循環への応用を目指して~

14. 三嶋慎平 (浦辺) 15:40-16:00

北部~中部マリアナ島弧における熱水プルーム中の微生物による炭酸固定

15. 宮田祐史 (砂村) 16:00-16:20

亜鉛分析を通じた熱水活動が深海プランクトン生態系におよぼす影響

16. 小林幸典 (宮本 (英)) 16:20-16:40

火星の砂丘にみられる現在も流動している地形

* 発表会終了後、4年生は教務委員との個人面談があります。

* その後 18:00 よりホワイエにて打ち上げパーティを行います。